

# ヒイラギズイナ

か めい  
科名 ユキノシタ

べつ めい  
別名

がく めい  
学名 *Itea oldhamii*



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶん  
分 布 あまみおおしま とくのしま おきなわほんとう いしがきしま  
奄美大島、徳之島、沖縄本島、石垣島、  
いりおもてしま よなぐにじま  
西表島、与那国島

は かたち  
葉 の 形 ちょうだえんけい らんけい  
長楕円形、さかさ卵形

は ふち  
葉 の 縁 ぜんえん きよし  
全縁、鋸歯

は さき  
葉 の 先 えいけい  
鋭形

は しゆるい たんよう  
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい  
葉 の 付方 互生

は きふ えいけい  
葉 の 基部 鋭形

み しゆるい さくか  
実 の 種類 蒴果

はな がくいろ しろいろ  
花 ・ 萼 色 白色

せつ せい  
説 明 さんち りんない せいいく たか たつ じょうりよく こうぼく わかえだ たんりよくしよく  
山地の林内に生育し、高さ6-10mに達する常緑の高木です。若枝は淡緑色ではじめ毛  
が生えています。葉は革質で互生、楕円形などで長さ6-10cm、幅3-5cmです。葉の縁は全縁  
ですが、若葉は鋭い4個から6個の鋸歯があります。枝先に多数の白色の花が総状花序に咲  
きます。